

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



## ボランティアニュース

241号 2024年2月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

センターの2月の様子から

つるし雛ボランティア 草野 勝美

『つるし雛』は、少人数のセクションです。月に一度、集まったメンバーで、キット作りや、飾り雛・つるし雛の修理や作成を続けています。活動時間の中だけでは、なかなかほかどらない時もあります。みなさん、材料や型紙をご自宅に持ち帰り、丁寧に仕上げ持参していただきます。時々、届けていただく、ご寄付の布地やお着物などは、きっとたくさんの思い出のつまった、ずっと大切にされていた、お品物だと思っています。昨年、元重心施設長の山田美智子先生からもたくさんいただき感謝申し上げます。素敵で、色や柄の布地から、干支の雛飾りや、つるし雛・五月の鯉雛の材料を選べる事は、本当に有り難い事だと感じています。

メンバーの方が、いつも、嬉しそうに布地を選ばれたり、刺繍の部分を大切にカットされたりしています。センターに、入院・通院されている、たくさんのこども達の回復を願い、笑顔を思い...また、この季節を迎え、雛飾りを終えました。どうか、ほんの少しでもゆったりとしたお気持ちになってください。



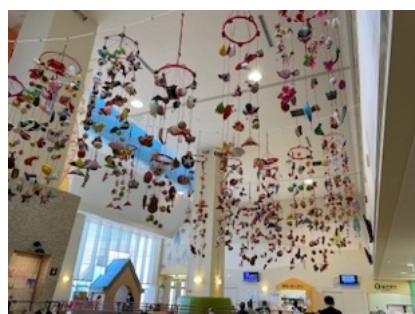
NICU 入り口の手ぬぐいアート



NICU 入り口の手ぬぐいアート



総合待合の雛壇と久里浜少年院から頂いたラン



正面玄関の輪飾り

## 院内アート

外来ボランティア 齊藤則尚

ボランティアコーディネーターの加藤さんから、2月のボランティアニュースに掲載する一つのトピックとして、病院内の飾り付け等についてボランティアの視点からコメントするお題をもらった。それ故、普段は何気なく見ている飾り付け等を、今回少し意識して見ることにした。今年も私のボランティア活動はボランティア室で支度を終えた後、1階の渡り廊下を通り、正面玄関のボランティアコーナーに移動することから始まった。移動する間、いつもの様に患者さんやその家族、病院職員の方達とすれ違いながら、徐々にその日のボランティア活動に入る心の準備をしている。その一方で目に入ってくる物は人々や物だけではなく、院内には様々な飾り物や掲示物などがあることを再認識した。渡り廊下ではガラス窓に青空をバックに描かれた鮮やかで愛嬌のある龍が年男である私を迎えてくれた。廊下の左手には書初め、絵馬が壁に掛けられている。その前では親子が絵馬に願いを書いて吊るしている。そしてホールへと進むと大きなツリーを埋め尽くす正月飾りが目に飛び込んでくる。ホールにあるグランドピアノの奥にガーベラと椿が羽子板と一緒に飾られ、天井には正月凧が配置されている。ボランティア活動中も高所にある天井の飾り付けを小さなお子様が下から眺めている様子はしばしば見かける。それらは一見一つ一つ独立した様には見えるが、院内の集合アートとも言える。

これらのものが無かったら病院はとても殺風景で無機質な箱になることは容易に想像ができる。ボランティアの方達の努力により製作され、飾り付けられているこれらアートは、患者やその家族、院内で働く人々の目を楽しませてくれるだけでなく、気持ちを和ませ、元気を与えるものであることは、日々の外来ボランティア活動で感じる場所である。年男で2月生まれの私も院内のアートからパワーをもらい、今年も元気にボランティアコーナーに立っている。



通路のガラスに書いた  
今年の干支の龍



## 私の『小さな友達』

外来ボランティア 小林麻里子

「こんにちは」「いってらっしゃい」「ありがとう」が心地よい医療センターの外来受付に立って3カ月。ボランティアを私に示してくれたのは、ずっと以前に出会ったハンデをもつ泰之さんと課外活動で施設を手伝った2人の娘です。いつからか、私も『小さな友達』のお役に立ちたいと思い、今こうして、この場に立てることに感謝しています。外来では毎日多くのご家族をお迎えしており、若葉マークの私は先輩方に学ぶことから始まります。「目配り・気配り・心配り」この3つを大事にしつつ、皆さんを優しくサポートする大切さを教わっています。そのお子様方が楽しみにしている一つに、手作りのお土産があります。ある日のこと、お母様から「折り紙の腕時計が大好きで、何度も修理しながら使っています。」というお声をいただきました。気持ちが繋がる瞬間を体験し、とても嬉しく思いました。また別の日に、先輩お手製の“電車サイコロ”

を男の子に勧めると、「本当に選んでいいの？ボク、電車大好き。ありがとう。」と眼鏡の奥の大きな瞳がニコリ。そして、「電車をもらったから今日の診察は頑張れるよ！」「嬉しいね、凄いね。」と微笑む母子の後ろ姿を見送りながら、いただくものの大きさに私の心は温かくなりました。笑顔を届けたくて飛び込んだボランティアですが、きらきらを貰ってばかりです。また来週、出来る事を探します。ありがとう、私の大切な『小さな友達』！



電車は 25mm  
四方の大きさ

### ぼぼんた通信 No68

キクちゃん

2024年1月28日“愛する子ども達のために”のチャリティーピアノコンサートが有り、はまぎんホールヴィアマーレへ出かけた。1月とは思われないほど暖かい。主催はNPO法人スマイルオブキッズ。このコンサートは今年で15年になるそうだ。さて、最寄り駅の桜木町駅前広場は募金を呼びかけるグループが大勢いた。

1月1日の能登半島地震の支援金を呼びかける学生のグループもいて、少しだが募金した。会場では、ロビーでのミニバザーが楽しみの一つだ。今回はきれいな絵付きのマグネットと買い物袋を買った。

プログラムの最初はリラの家 滞在、宿泊利用されたご家族のお話があった。こども医療センターで治療されたお子さんは、今はすっかり元気になられて、ピアニストの関 孝弘さんにきょうだい3人で花束を渡した。関 孝弘さんのピアノコンサートはトークも楽しい。今回印象に残ったのは、人間が生まれる時、最初の音は‘ラ’産声は皆‘ラ’ですって！！ドレミのラですよ。

帰り道、‘ラ’と小さな声で発声しながら、自分が赤ちゃんの時の声を改めて聴いた。

### 1月のイベントから



総合待合フラダンスのヒロちゃんは、重心施設ひだまりでも踊っています。どちらもこどもたちも参加して踊ります。(写真左) ピアノ演奏の竹澤さんは毎月来てくださいます。途中にクイズもあり、またご家族も楽しめる曲も演奏しています。(写真中央) ホスピタルクラウンと4南の保育士、さあこれから子どもたちのところで「いっしょに楽しもう！」クラウンさんは、毎月2回外来と病棟に来てくれます。(写真右)

## 2月イベント

月	火	水	木	金
			1	2
			外来ミーティング	
5	6	7	8	9
ボランティア調整会議 14:00～15:00 第1会議室	クラウン (外来・クリーン)	HCU2SOC15:00 クリスタルボール・ヒーリング(オンライン)	SOC10:10 英語で笑い合おう(オンライン)	
12	13	14	15	16
14日(水) 14時～14時45分 心魂プロジェクト		ぽぽんたお話し会 14:00 (5南・4東) SOC 5西 15:00～ マジックショーオンライン	SOC 4西 15:00～ マジックショーオンライン	
19	20	21	22	23
	クラウン(外来・4南) ひろちゃんとフラダンス(ひだまり・総合待合)	SHJ 5西 15:00～ 大道芸徳島ハッチさん	SOC 4東4南5南ク リーン 15:00 オンラ イン エリックさんライブ	
26	27	28	29	
		ぽぽんたお話し会 14:00 (4南・HCU2)		

- ・毎月1回 フラワーアレンジメント (4か所で実施)
- ・毎週火曜日 10:45～11:15 高野さんとピアノで歌おう
- ・毎週月・水・金曜日 10:30～17:00 きょうだい預かり
- ・毎週火・金曜日 重心作業
- ・第4木曜日 作業
- ・月～金曜日 患者図書・外来
- ・第2・第4火曜日 (他火曜日適宜) 園芸活動
- ・第2・第3水曜日 縫製活動
- ・毎週火～金曜日 10:30～14:00 ピアサポート

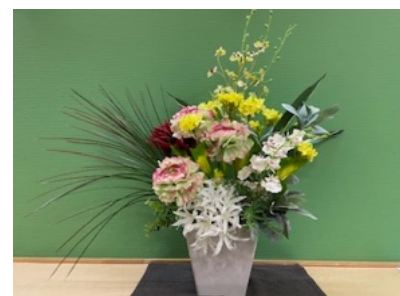
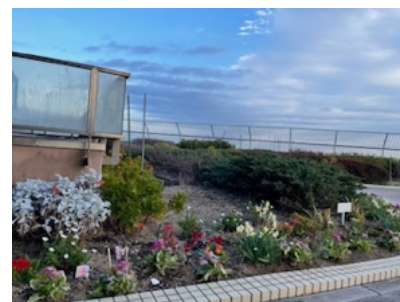
### 3月の予定

3月5日(火) ボランティア運営会議 14時～15時30分 講堂

3月18日(月) ボランティア研修会 13時～16時 講堂

講演 新生児科部長 豊島 勝昭

3月30日(土) 5月人形季節飾り 9時～ ボランティアさん募集中



外来のフラワーアレンジメント